



～社訓・誠意～ 社長室だより



2018年2月末号

ある小説家の講話で日本は今後労働人口が益々減り、第三国からの移民に頼らざるを得なくなる。多くの外国人が日本で暮らすようになると日本の文化、感性が変わってくる。

これは有る意味悲しむべき事も出てくる。と発言した。日本には四季が有り、移りゆく季節に合わせた様々な行事が有り、気候の変化に寄り目に入る景色の色に感性を磨かれ、食の豊かさに味覚が磨かれ、季節ごとの生活の備えに知恵が研ぎ澄まされ、わびさび文化は様々な伝統工芸に活かされて来たと思う。古典を英語に翻訳する時にどうしても訳せない言葉がいくつも有ると言う(英語力が無いからではなく)永い間こうした環境で伝えられた感性は人付き合いにも活かされ、おもてなしの所作、寸志、おすそわけなど相手の気持ちに寄りそう風習を育ててきたと思う。私はこの日本の伝統を尊ぶ。上の写真は私の初節句に親があつらえてくれたひな人形で、ガラスのショーケースに入った段飾りだったが引越でガラスが割れて人形だけは毎年飾っている。それ以外でも我が家では季節ごとに部屋の飾りを変え、旬のものを食す(家族は一言も感想を言わないが)季節は春を迎え、草木が一番美しい時。花粉症の人には辛いだろうが、これも年中行事と受け止めてマスクの色を変えたり、メガネのフレームを変えてファッションセンスを磨くのはどうだろうか? づらい時や疲れた時に一輪の花を観、夜空の月を眺め、桃色の花卉舞う風を感じ、深いため息をひとつ吐けば少しは癒されるはず。おためあれ!

そうそう、今月で本社移転から丸1年が過ぎました。あの怒涛の引越作業。様々な会社の変化に皆さん本当に私の指示に従ってくれてありがとうございました。皆さん方の夢と希望の實現。会社の存続、発展のために誠心誠意これからもがんばりますので、今後ともよろしく願いますね!!

明るく・元気に・常に前向きに!!! ね



1月～3月 お誕生日の皆さんです。 お誕生日おめでとう!!

1/3 篠塚幸信 (本社経理) 1/15 藤井隆市 (本社ライフ便) 1/24 遠藤浩志 (本社シハナ便)

1/24 工藤英文 (本社マショナリー便) 1/25 佐藤昌宏 (平塚築地早便) 1/27 加川拓哉 (我長男)

1/27 高野秀樹 (本社小林便) 2/4 田辺弘志 (平塚シモハナ便) 2/26 松野喜一郎 (本社ヘルプ便) 3/8 新原克彦 (平塚郵政便) 3/25 中村慶孝 (本社KPC便) 3/27 鈴木基寛 (本社ヘルプ便)